

「事業所職員向け」 児童発達支援自己評価表

公表： 2026.3.31

スタッフ 15 名回答

事業所名： さんぼみち

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標
環境・体制整備	①	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	12	0	3	安心して過ごせるようにスペースを区切ったり、外遊びの時間帯を調整したりしている。 距離を取れたりクールダウンしたりできるスペースがあるとなお良いと考えます。 部屋の広さを、児童の特性に配慮しながら決めている。	クールダウンや静養が必要な児童のために、パーティション等を活用して、より安心して過ごせる「静のスペース」の確保・拡充を検討します。
	②	②職員の配置数は適切であるか。	13	0	2	子どもたちの様子に合わせて、職員が動けるように日常的に声をかけあったり、ヘルプを呼べる体制を作ったりしている。 児童の気持ちの表出を最も大切に、対応できるようにスタッフが充実している。 適切。子どもたちの様子や状況によっても対応している。ヘルプが必要な際もすぐかけつけてくれる。 児の出席状況で職員配置を工夫している。 子どもに対しスタッフが多と感じるときは他のスタッフと相談して抜けたりしている。 一日の流れを確認する時に、配置数も確認をしている。	
	③	③生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	12	0	3	視覚支援を取り入れ、対象児がわかりやすい対応を試行錯誤しながらやっている。 使われていないキッチン等活用方法があればと思います。 絵カードを使って、視覚で分かるように配慮している。 危険な環境ではないかは常に確認している木の床の棘なども対応してくださっている部屋の中でも、落ち着く場所を提供できるように、空間を区切ったり、静かに入れる場所を作るようにしている。	視覚支援等の工夫を継続しつつ、今後は未使用スペース（キッチン等）の有効活用を含め、児童の特性や活動内容に応じた柔軟な環境設定を検討します。
	④	④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	2	修繕が必要などころはその都度修繕している。 尿や唾液など、すぐ消毒するようにはしているがきれいに拭くことはできていないかもありません。 まったりしたい・落ち着いた時間帯などは、皆がリラックスできるクッション等を使って心地良く過ごせるようにしている。	日々の清掃・消毒に加え、汚染時は速やかかつ徹底した対応ができるよう手順を再確認します。また、リラックスできる環境づくりを推進します。
業務改善	⑤	⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	12	0	3	わかりにくいところがあるので、職員に聞きながらやっている。 安全計画や行事活動についての、目標設定とふりがえりはしている。 話し合いを行なって、意見を出し合っている。そこで必要なことを取り入れたりしている。 勤務日以外の日の情報は他のスタッフさんからも聞くようにしている	安全計画や行事だけでなく、日常の支援内容についても全職員が目標と振り返りに参画できるように、会議での共有方法を見直します。
	⑥	⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	13	0	2	常勤さんからの情報でないといけないですが、必要なことは伝えてくださっていると思います 活動についてのアンケートを実施し、意見を参考にしながら新しい活動に取り入れている。	
	⑦	⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	12	0	3	そこはよくわかっていないかもです	自己評価の結果や改善内容は、ホームページや会報を通じて保護者様へ分かりやすく発信し、透明性の高い運営に努めます。
	⑧	⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	7		
	⑨	⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	14	0	1	朝や夕方の短時間を使っている。 職員が学びたい研修を実施できている。学びが深い。話し合い活動も充実していて、職員同士、意見交換できている。 法人内、法人外の研修は充実しています。部署内でも、研修を行っています。 研修はたくさん実施している。職員からアンケートを取って、研修内容を決めている。 年間を通して 様々な研修を受けさせて頂いている。 研修は参加させていただいています 研修を定期的に行い、ビデオ等記録に残しいつでもだれでも振替られるようにしている。 定期的に、研修を実施し、知識の向上、及び意見交換などを行なっている。	
⑩	⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	1	時間をしっかりととり、子どもの様子だけでなく、保護者に寄り添い、相談のっている。 パートにもモニタリングなどの情報も伝えていただいています		
⑪	⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	13	0	2	よくわかっていないです	児童の行動をより客観的に把握するため、標準化されたアセスメントツールの活用について職員研修を行い、理解を深めます。	
⑫	⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	2			
⑬	⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	13	0	2	個人目標の書かれているファイルを担当のスタッフで確認できるときはしている 各自の個別支援計画を見たり、モニタリングで出たお話を、申し送り時に共有して支援に繋げている。		

適切な支援の提供	14	14活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0	1	<p>いろいろな職員の意見や思いを聞きながら、検討している。</p> <p>当日の職員間で共有されているが、別の曜日の先生はどう考えているかなど共有の機会があればと思います。</p> <p>職員同士の情報交換を大切に、子どもの様子をみんなで共有し、子どもにあった支援をみんなで考えている。</p> <p>申し送り、ふりかえりの時間を確保しています。</p> <p>同じクラスのスタッフで話し合い、活動を決めている。</p> <p>子どもの姿から何ができそうか、どう支援すれば分かりやすいものになるか等、話し合っている。</p> <p>何かあれば相談しています 特におもちゃや工作などは相談しながらすすめています</p> <p>子どもたちの取り組みを見て、個に合わせて活動を相談して決めている。</p>	
	15	15活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	4	<p>子どもたちに合わせながら、変更している。</p> <p>1週間の中でいろんな経験ができるようになっていっています。曜日によっては同じ活動の繰り返しになる事はあり得るのかもしれませんが。変化が苦手なお子さんもいるので難しいところです。</p> <p>活動で使った立案や、道具を蓄積し、日々改善を加えている。</p> <p>子どもたちの様子によってはあまり変えないこともある。</p> <p>大きな流れは変えたりしていないが、おもちゃや工作などは必要に応じて変えている</p> <p>雨の日もグループ間で情報を共有しながら、良かった取り組みを取り入れている。</p> <p>子どもたちの特性、発達段階に合わせて、プログラムを組んでいる。</p>	マンネリ化を防ぐため、曜日ごとの活動内容を見直すとともに、他クラスや職員間でのアイデア共有を活発に行い、多様な経験を提供できるよう工夫します。
	16	16子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	3	<p>来所する子どもに合わせて、個別や集団にする場面を決めている。</p> <p>集団を見ながら、個別の関わりをスタッフ間で、試しながら行っている。</p>	
	17	17支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	14	0	1	<p>ホワイトボードを使ってわかりやすくしたり、打ち合わせに出席できない職員には写真を送ったりして共有している。</p> <p>全員が集まり、支援内容の確認や情報共有をしている。</p> <p>朝のミーティングや同じクラスの職員間で子どもたちの状況や情報のやり取りをしている。</p> <p>支援前と支援後に必ず話している。</p> <p>情報を共有したり、困っていることなど伝えられる場にもなっている。</p> <p>朝のミーティング後にも1日の流れを相談しながら組み立てています</p> <p>一日の流れ・留意点等を朝、共有している</p>	
	18	18支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	0	<p>動画を使い、日々の支援を毎日振り返っている。細かな言動もしっかりと受けとめて、子どもの気持ちを考えている。</p> <p>日々動画を撮り、ふりかえりをしています。常勤の間では、全体のふりかえりをしています。</p> <p>気づいた事などは話して、わからないことも確認するようにしています</p> <p>一日を通しての振り返りをしながら、不明瞭なところや、気になった所はビデオを見ながら、共有している。</p>	
	19	19日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	0	<p>支援で起きたことは、しっかりと記録に残し、共有しやすくしている。</p> <p>振り返りで見の様子を記録している。次の支援に繋がるようにしている。</p> <p>常勤さんがいなくても、パートでも記入できるボイス式の入力方法もあり助かっています</p> <p>振り返りの記述を参考に、スタッフ間で話し合いを行っている。</p>	ヒヤリハットや日々の記録を「書くこと」で終わらせず、支援の検証や改善に直結させるため、ケース会議等での分析・フィードバックを強化します。
	20	20定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	14	0	1	<p>半年ごとに実施している。</p>	
	21	21障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	14	0	1		
	22	22母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	13	0	2	<p>保健師さんと通園先の先生との連携できるように、声掛けをしたり、体験会などを開いて連携しやすいようにしている。</p> <p>保健師の実習を受け入れています。</p>	
	23	23（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	11	1	3		
24	24（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	11	1	3			
関係機関や	25	25移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	1	<p>電話だけでなく、訪問に行き、ケース会議を開き、情報共有を行っている。</p> <p>保育所等訪問支援や電話での情報共有など行っています。</p> <p>常勤のスタッフさんからの情報も朝のミーティングで共有されています</p> <p>園での様子を聞くと同時に、支援センターでの様子を伝えるようにしている。</p>	
	26	26移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	1	<p>サポートかけはしシートの利用を促している。</p> <p>かけはしシートで情報共有を行っています。</p>	
	27	27他の児童発達支援センターや自動発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	12	0	3	<p>児発達連絡会や研修会に参加し、連携をとりやすいように心がけている。</p>	

保護者との連携	28	28保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	11	0	4	近隣の幼稚園の園庭に遊びに行き、交流を持てるようにしている。 毎日通所のお子さんにとって、必要な頻度や機会を検討できればと思います。 近隣の幼稚園に協力してもらい、一緒に遊んでいる。 地域の幼稚園の園庭を開放していただき、遊ぶ時間があります。 近隣の幼稚園時々幼稚園の訪問に行かせていただいています 地域の幼稚園の園庭を開放してもらい、体験できる機会を設けている。	近隣幼稚園との交流に加え、地域の他事業所や児童との関わりを増やせるよう、新たな交流機会を検討します。
	29	29（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	0	6		自立支援協議会等の地域会議へ積極的に参加し、地域の課題把握に努めるとともに、得られた情報を職員間で共有し、日々の支援に還元します。
	30	30日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	2	送迎時、電話での対応、連絡帳などを活用している。 送迎時など、日ごろから保護者と会う際に子どもの様子を伝えていく。 共通理解まではいかないかと思いますが、お伝えすることはしています お迎え時や親の会等では、最近の様子を伝えたり、家庭での様子を細かく聞いている。	
	31	31保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	12	0	3	さんぼみち利用家庭にも、メールで周知しています。	
保護者への説明責任等	32	32運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	2	わかりやすい言葉を選びながら説明をし、ある程度で区切り、親御さんのわからないところはないか？確認しながら説明をしている。	
	33	33児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	1		
	34	34定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	14	0	1	面談や家庭訪問、また、親の会などで、お話しする機会を作っている。 医療との情報共有も行って、連携がスムーズにいくようにしています。 親子行事や支援の始まり、終わりなどにお話できることは心がけています 気になっていることや相談を受けた時には、動画を使って面談を行っている	
	35	35父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	13	0	2	今年は、新しい行事活動をいくつか行いました。 親子行事の時などは親御さんたちどうしてお話したりする方もいらっしゃいます	
	36	36子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	1	自分ではお答えできないことも多いので、心理士さんや常勤スタッフさんへ相談しお答えできるようにしています	
	37	37定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0	2	毎月おたよりを発行している。また、行事などいつもと異なることについても別紙おたよりを作成している。 今年度から、おたよりの写真掲載をはじめました。 お便りなど配って、お母さんたちがその場で見られているので楽しみにされているんだなと感じています 分かりやすくお便りに、写真を掲載して日頃の様子を伝えていく。	おたよりへの写真掲載等を継続・充実させ、事業所での活動や子どもたちの様子がより家庭に伝わるような発信を心がけます。
	38	38個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	15	0	0	さんぼみち内だけで話すようにしています	
	39	39障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	1	メモにしたり、印をつけたりして、わかりやすくしている。また、親御さんの話を伺いながら、どのような内容や言葉であればわかりやすいかを考えて対応している。 わかりやすく、はっきり伝えたり提示したりしていると思います	
	40	40事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	0	3	地域の方を呼んで、納涼祭を行っている。	納涼祭等の行事以外にも、地域住民の方々に事業所の活動を知っていただく機会を検討し、地域に開かれた施設づくりを進めます。
	非常時等の対応	41	41緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0	1	年度はじめに実施した方がいいものなど考慮しながら取り組まれていると思います。 勉強会で確認させていただきました
42		42非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	1	引き渡し訓練に加え、炊き出し訓練も行いました。 防災訓練なども参加させていただいてます 炊き出しを行い、実際に保護者の方と一緒に避難・食事をとる体験をしている。	
43		43事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	0	服薬のかかりを毎日決めている。また、お互いに忘れないように声掛けをしている。 必要な情報は確認しています	
44		44食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	1	アレルギー児の有無を朝のミーティングで共有し準備、提供時のチェックなど徹底している。 アレルギーの子がいる場合、食事内容も朝のミーティングで確認しています 対象児の保護者の方にメニューチェックをしてもらい、提供時には確認できるようなし、顔写真を付けて注意できるようにしている。朝には、対象児の対応を職員と共有している。	
45		45ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	14	0	1	毎週集計して、翌週に周知している。 些細なこともヒヤリハットを報告し、共有し、どんなところで怪我や事故が多くなるのか予測するのに役立っている。 まだまだ充分でないですが、書けるときは書くようにしています	
46		46虐待を防止するため、職員を研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	1	安全計画に基づきながら行っています。 研修も受け、日頃からの注意でなどもその時話し合っている	
47		47どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0	1		